

ボラ連だより 第2号



☆新聞の名称(愛称)大募集中!!☆

発行元: 宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会
TEL 0940-37-4100 (宗像市ボランティアセンター)

明けましておめでとうございます
皆さまのご多幸をお祈り申し上げます
今年も、ボランティア活動、
福祉ボランティア活動連絡協議会を宜しくお願い致します



今号では、新年を機に、「ボラ連」の歴史・現在の役員・寄稿および、

昨年11月に実施された「全体研修」・シンボルマークについて紹介します。

ボラ連の歴史



年	出来事	団体数	会員数
1985(S.60)	6月2日の設立総会で発足。	8	約90
1995(H.7)	結成10周年を迎える。 10周年記念誌「であい」を発行。 ボラ連シンボルマークを作成。(*後述参照)	11	275 (H6年度)
1998(H.10)	「メイトム宗像」が開館(当初は市総合保健福祉センター)		
2003(H.15)	旧玄海町ボランティア連絡協議会8団体が加入。	24	約380
2005(H.17)	結成20周年を迎える。記念式典を開催。 翌年3月に20周年記念誌「であい」を発行。	20	約300
2014(H.26)	発会30周年記念式典を開催。	11	176
2018(H.30)	33周年を迎える。	11	158

今期「ボラ連」役員紹介

新年度総会までの残りの任期、頑張ります!

事務局長



坂梨 千尋
(おもちゃライブラリー)

会長



高岡 隆志
(ひよっこ楽座)

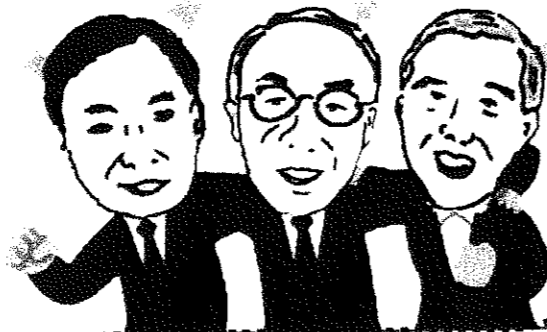
会計



吉武 章恵
(こやぎ座)

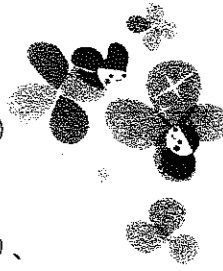
運営推進委員(3名)

関本 健一 秋吉 哲也 国生 草太
(見識者) (アイフレンド) (おもちゃライブラリー)



・寄稿・「ボラ連とわたし」

石津 朝子さん (「ボラ連」前会長・点訳ボランティア てんとうむし代表)



ボラ連結成と同時に“てんとうむし”も結成、同じ時代を歩んでいます。
私が入会したのは、6、7年後です。当時は、社会福祉協議会がユリックスにあり、
東口のドアを開けると、(今も現役の)元気な女性の声が聞こえていました。
私たちはその奥の一室で活動をしていました。手打ちの点字盤使用でした。

毎年の「健康福祉まつり」では、ボラ連は余剰品を持ち寄り、それに値札をつけ販売。
各グループも体験コーナー、展示、喫茶や焼きそば等々、(昔々のお話で記憶も薄れていますが)、
大変ながらもワイワイがやがや楽しくやっていたと思います。
まつりのボラ連使用の場が、その年によっては、ユリックスのイベントホール前、ホール内、
はたまたグローバルアリーナ体育館でと、“まつり”の名称と共に場所も動きました。
前日に顔を合わせ準備、あの頃はボラ連一団として参加していました。

メイトムへの引っ越しがあり、ボランティアセンターが独立した部屋でしたので、
身近に感じられました。

施設のイベントや外出支援などの依頼も多く、外部への活動も活発でした。

私にはボラ連全体研修は、一つにグループ代表として、また他グループの方との親睦のため
(安否確認?)今も大切に思っています。

活動をしたい人とその活動を必要としている人のいる限り、
また次世代へのバトンを繋ぐ役目として、グループを継続させることを願っています。



H30年度「全体研修」を実施

昨年の11月22日、30人の参加で視察研修を行いました

福岡市西区今津の「特定非営利活動法人 SOS 子どもの村 JAPAN 子どもの村福岡」を訪問。
ここは、家族と暮らすことができない子どもたちと、その危機にある子どもと家族のために、
施設内で育親(里親)とともに子どもを育てたり、一時保護やショートステイで子どもを
受け入れています。坂本雅子副理事長 から話を聞き、その意義や取り組みの様子に
感心させられました。

お昼は、福岡市西区姪浜の「レストランゆずのき」で美味しく楽しい食事!

ここは、就労継続支援A型の事業所で障がいのある人も40人以上働いています。

そして、「福岡市博物館」を見学。

福岡市周辺の歴史を再認識できました。

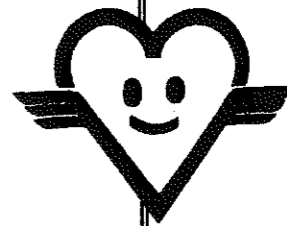
アンケート結果から、皆さんに好評を得た研修だけに、
もっと多くのご参加があれば良かったです。

(文責:秋吉)



「宗像市ボラ連」シンボルマークについて

このマークは、平成7年1月に、
一般公募による公募作品の
19点の中から選ばれました。



作者は大久保泰男さん。
宗像のMと、
ボランティアのVが
組み合わせられています
(マークの著作権は
「ボラ連」が所有します)